

令和5年11月17日

号外



八代高校・八代中学校PTA会報

インターアクトクラブ海外研修 IN 台湾

7月24日から27日まで、生徒6名を引率して台湾交流研修に行ってきました。



インターアクトクラブ地区交流大会



7月29日30日、生徒29名を引率して、湯布院（日本）交流大会に参加しました。研修所に宿泊して各校のインターアクトクラブの生徒が活動報告や交流、ディスカッションを行いました。生徒はみんな頑張っていますので、応援よろしくお願ひします。（文 富）



Q、優勝おめでとうございます。アナウンスが聞こえた時、喜びがあふれていましたね。感動しました。



A、恥ずかしいです(笑)

Q、シンボルは何人で作られたのですか？
A、30名くらいですかね。

Q、いつごろから作られましたか？
A、本格的には8月7日でしたけど、構想からだど7月20日頃でした。

Q、コンセプトは？
A、「燎櫻華」は団長さんが考えて、そこから構図は私が考えました。
お父さん、お母さん世代や私たち子ども世代でも伝わるようなイメージにしたいと思って、「桜木花道」は、かっこよかったし、迫ってくる感じを表現したかったし、描きたくて採用しました。今年の採点項目に独創点加わって、キャラクターや人物画

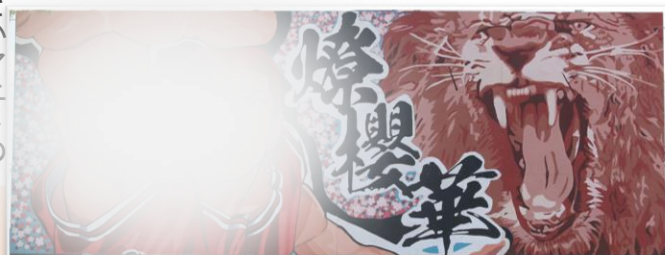
は減点になってしまったので、独創点をどうだすかを考えて「ライオン」が吠えてる感じにしたら迫力あると思ってるようになりました。

Q、各団の皆さんは、優勝目指しますでしょ？
A、そうなんですけど、正直赤団で優勝できると思わなくて、去年まで「大谷翔平」とかアニメのキャラを描けたのですが、肖像権や著作権の問題で、ダメなことに、それでも先生に交渉して、アニメキャラはOKになりました。が、独創点は減点になるよと言われ、ほかの団



とは、スタートからマイナスだったんで、優勝するとは思っていませんでした。

Q、こだわりが強かった？減点覚悟で描きたかったのですかね？
A、そうですね。



※事情によりぼかしています

鳳雛祭「体育の部」

シンボル優勝「赤団」

Q、描きはじめてからは、大変でしたか？
A、結構大変でした。大部分ひとりで決めたので。美術部の友だちと、意見を交えたりしながら、手伝ってもらったのですが、シンボルの内容をみんなで話す機会がなかったもので、一人で構想を練ったり、修正を毎日永遠と繰り返していました。黒板にプロジェクターで写すときも、比率が合わないの、修正とかが大変でした。塗るときもグラデーションが細かくて、すごく大変でした。

Q、作業のまとめ役も苦労しましたね？
A、作業を始めてからは、人数が集まらなくて、少ない時は四人ぐらいでした。朝8時半くらいから13時くらいまで、作業しましたが、毎日、毎日終わらないんじゃないかドキドキしながら。他の団と並んでの作業でしたから、私たちが半分なのに、黄団が終わってたりして、すごく焦りました。

Q、どの団が優勝かなとか作業中、気になりませんでしたか？
A、みんな頑張っているのを見ているから、どこの団が優勝してもおかしくないなあと思っていました。けど、青団かな(笑)

Q、達成感はひとしおでしたね？

A、めっちゃめっちゃありました。優勝できるとは思っていませんでした。信じられない気持ちと、一ヶ月の不安からの開放感などが、いろいろこみあげてきました。ずっと不安でよく寝れなくて、夢の中で塗ってたりとかしてたので、すごく開放された気持ちがいっぱいありました。



Q、この経験は、今後の活動に影響がありますか？
A、シンボルリーダーは高一ぐらいのころから、やりたいなあと思ってたんですけど、自信がなくて迷っていたんですけど、受験もあるし。けど、友だちに「やったらいいよ」って背中を押されて決まりました。この経験を得たことで、受験で話すことが増えました。また、これから先、この経験が、人をまとめることの勉強になったと思っています。

Q、後輩に伝えたいことはありますか？

A、めっちゃくちや覚悟をもってしたほうがいいと思います。シンボルって絵を描くだけじゃないんだなあと。先生とのコミュニケーションや、器材の貸し借り、予算だったり、ペンキを買ったり、人数把握だったりして、いっぱいやる必要があるんだなって。勉強になりました。